

私費留学 体験談

自分の選択肢の幅が広がり、
自己成長に直結したと感じています。

杉谷 和起さん 商学部商学科 2016年卒業



私費留学した理由

私は、商学部にて在籍しており学内の交換留学制度に無知であったために、留学を考えるようになった時には「時すでに遅し」応募期限が過ぎていました。しかし、今考えると私費留学は自分の選択肢の幅が広がり、自己成長に直結したと感じています。何故なら交換留学の場合、出発前には住居、学校などある程度のことは学校が用意すると思いますが、私費留学の場合すべて自分で探して、決める事が出来るので、融通がきくのと自己成長に繋がると思います。

留学先を決めた理由、手段

私は、ただ単に夏が好きで温暖なイメージでもあったオーストラリアにしました。加えて日本との時差が1時間～2時間程で治安が良いのも決め手の1つです。

会社はオーストラリア留学を専門に活動している「アイエスネットワーク」に頼みました。理由として、1カウンセリングから留学手続きまですべて無料である。2現地に会社があるため、現地スタッフと学校関係者が直接ミーティングでき生の本当の情報が知れる。この2つが非常に大きいと思います。ほかにも理由としてはたくさんありますが実際にホームページを見る事をお勧めします。

準備期間

約半年

留学前の準備

英語力向上・学校手配・休学許可証提出など

語学学校の探し方、決めたポイント

私の場合は、希望の条件にあった学校を幾つかアイエスさんにピックアップしてもらいその中から決めました。ちなみに希望として挙げたのは、・日本人が少ない学校・評判の良い学校・市街地にある学校などです。人それぞれ好みがあるとおもうのでこれだけは譲れないと思うものをピックアップし、希望にあった学校選びをお勧めします。

アルバイト先の見つけ方

日本と同じです。アルバイト募集の張り紙がお店に張ってあるところもあり直接レジュメ(履歴書)を提出します。アルバイトはただ単にお金を稼ぐだけではなく、生きた英語を学ぶにも最適で非常に良い経験になると思います。

留学先で困ったこと

現地で体調を崩した時に日本の薬を持っていくべきだったと後悔しています。個人的にはやはり日本の薬のほうが合っていました。

留学にかかった費用

200万円～300万円

後輩へのアドバイス

留学は自分自身を成長させてくれます。私はすごく留学したかったのですが、迷ったりはしませんでした。もし迷っている人がいたら、「もう、行っちゃえ！！」と言いたいです。日本と比べて、オーストラリアには本当にいろんな考え方の人が居て、いい勉強になりました。留学をすると視野が広がる、とよく言われますが、本当にそのとおり、考え方が広がったと実感しています。例えば、日本に居たときは、外資系への就職はまったく考えていなかったのですが、今は外資系も有りだなあ、と、興味が出てきました。留学中、辛かったことのほうが記憶に残っているのですが、今思うとその経験が私を強くしてくれたのだな、と思います。留学は費用もかかりますし、自分だけの問題でもないですが、是非チャレンジしてもらいたいです。